

放送セミナー2016

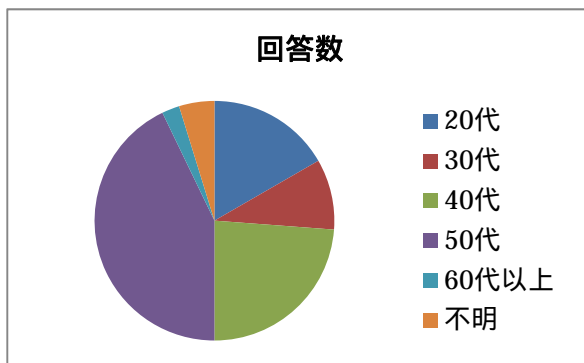
【アンケート集約結果】

- 日時 平成28年5月20日(金) 13:10~16:55
- 会場 広島市西区民文化センター 2階 スタジオ
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会、広島市
- 参加者数/アンケート回収数 92名/42名 (回収率 45.7%)

1. あなたの年齢、性別を教えてください。

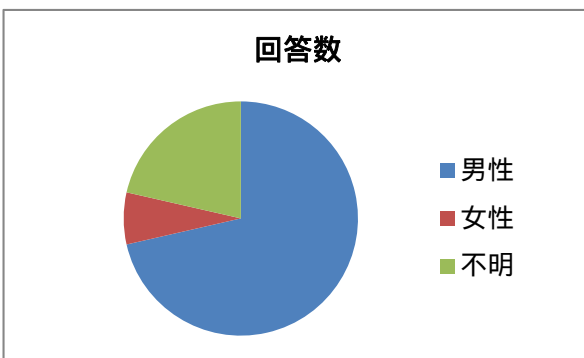
(1) 年齢：20代・30代・40代・50代・60代以上

区分	回答数
20代	7
30代	4
40代	10
50代	18
60代以上	1
不明	2
合計	42



(2) 性別：男・女

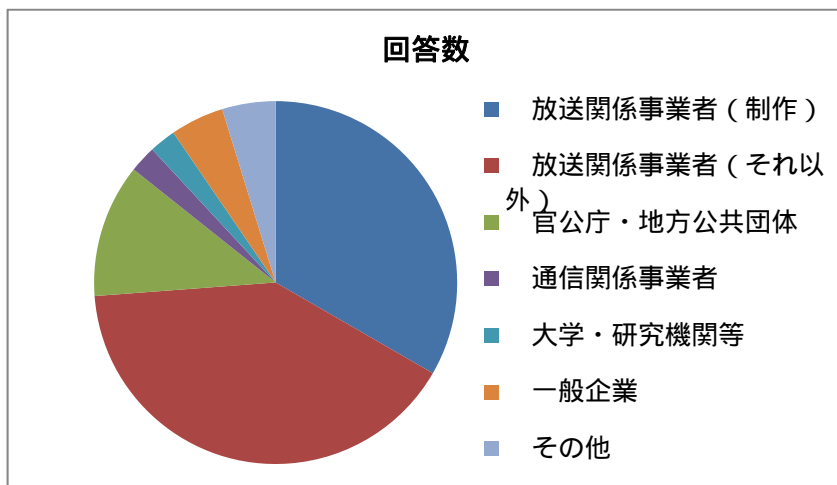
区分	回答数
男性	30
女性	3
不明	9
合計	42



2. あなたの現在の所属についておうかがいします。次の①~⑦の中から選択してください。

- ① 放送関係事業者（制作）
- ② 放送関係事業者（それ以外）
- ③ 官公庁、地方公共団体
- ④ 通信関係事業者
- ⑤ 大学・研究機関等
- ⑥ 一般企業
- ⑦ その他

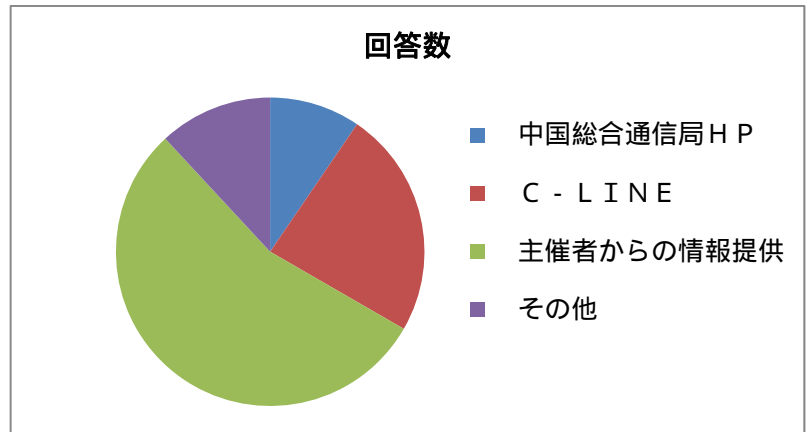
区分	回答数
① 放送関係事業者（制作）	14
② 放送関係事業者（それ以外）	17
③ 官公庁・地方公共団体	5
④ 通信関係事業者	1
⑤ 大学・研究機関等	1
⑥ 一般企業	2
⑦ その他	2
合計	42



3. 本日のセミナーにつきまして、どのようにお知りになりましたか。次の①～④の中から選択してください。

- ① 中国総合通信局ホームページ ② 中国情報通信懇談会のC-LINE ③ 主催者からの情報提供 ④ その他

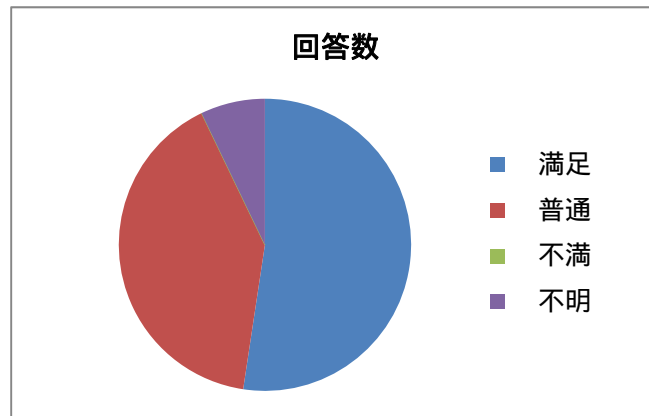
区分	回答数
① 中国総合通信局HP	4
② C-LINE	10
③ 主催者からの情報提供	23
④ その他	5
合計	42



4. 本日のセミナーの開催時期について満足度を教えてください。

- ① 満足 ② 普通 ③ 不満

区分	回答数
① 満足	22
② 普通	17
③ 不満	0
④ 不明	3
合計	42



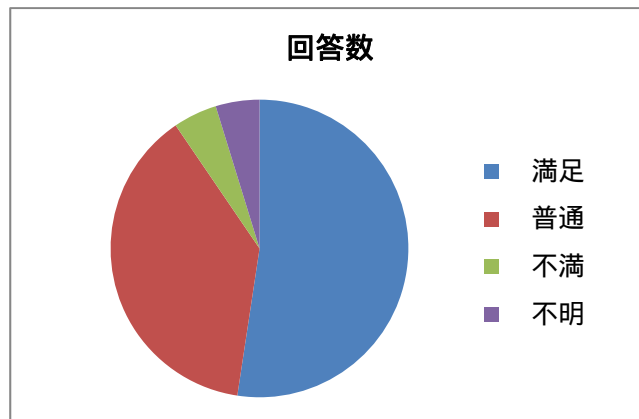
不満とされた方は具体的な理由をご記入願います。

・なし

5. 本日のセミナーの開催場所について満足度を教えてください。

- ① 満足 ② 普通 ③ 不満

区分	回答数
① 満足	22
② 普通	16
③ 不満	2
④ 不明	2
合計	42



不満とされた方は具体的な理由をご記入願います。

- ・長時間の受講は疲れました。
- ・交通アクセスが少々。
- ・机がある場所でやっていただくとありがたい。(文字を書く時など便利)
- ・会議室のほうがよいのでは

6. 本日の各講演及びパネルディスカッションにつきまして、ご感想等をご記入願います。

(1) 講演

①「北海道の放送コンテンツ海外展開と地域連携」

【講師】 北海道テレビ放送株式会社 高橋 一之 氏

- ・ 広島でもコンテンツの海外発信を活発に行うべきかと思いつても参考になりました。
- ・ 参考になった。
- ・ 収益、収支が見えない。
- ・ 北海道からの海外発信についての話が非常に興味深かった。
- ・ 映像もあり、海外展開への取り組みが非常に分かりやすかった。
- ・ 海外展開の事例として興味深かった。
- ・ ネットなどを使いながらPRしているのがとても勉強になりました。
- ・ 自社の番組を海外で放送することは、北海道のPRにもなっているしとてもいい取り組みだと思いました。
- ・ 北海道の地域特性と、その特性にあこがれを持つ海外の国・地域とのマッチングが見事。
- ・ 地方民放さんの海外への発信力には驚きました。北海道という土地柄なのかフロンティア精神にあふれて今後も注目では。
- ・ 多様な成長戦略が大変興味深く参考になりました。
- ・ TV局の積み重ねたコンテンツ開発の歴史がよく分かった。
- ・ 地域に根ざしたコンテンツの大切さを感じました。
- ・ 地域を情報発信して観光客を取り込む良い事例で刺激を受けた。
- ・ 意外に海外販にも積極的な局でその現状が知ることができた。もう少し時間がほしかった。
- ・ 日本ハムファイターズの陽選手を起用して台湾へのアピールをしていたことは知っていたが、HTBさんも番組制作等を通じて台湾へアピールをしていたことは初めて知りました。
- ・ 北海道テレビの海外展開、特にアジアに向けた制作番組が、非常に伝わりやすいもので作られていると見ていて感じました。また、留学生を活用したコンテンツは参考にしたいと思いました。
- ・ 産学官、特に行政よりの費用を頂いていることは、長期間実績を上げていることもあり、特出すべき内容で、放送局だからできたのかとも感じる。ケーブル局はMSOを除き一行政エリアが多く、県単位での活動は難しいと思うが、「広島」での観光としての素材（世界遺産）はあると感じる。県内ケーブル局が連携できるのであれば、是非取り組んで実績をあげれるのではないかと？
- ・ 行政との協力関係がうらやましかった。
- ・ 成功事例として大変参考になりました。
- ・ インバウンド事業について他方からの意見、行動が分かり良かった。
- ・ 事業規模が違いすぎて参考にならない部分があった。お話のように情報発信の多角化をしたいと思った。
- ・ 地方であっても全国や海外を視野に入れた番組作りをする必要性があると思いました。
- ・ 海外での番組配信を通じて、地域に観光客を呼ぶことができることがよくわかりました。
- ・ とても参考になった。良い内容であったが、話したいことが多くて早足に話されたようですね。
- ・ 大いに参考になったが、細かいところがよく分からなかった。もう少し詳しく話してもらえば良かった。
- ・ 海外発信という取り組みとその効果について知ることができました。
- ・ 海外展開において様々なアイデアをいただきました。
- ・ テレビ番組を使った誘致について参考になった。
- ・ 発表されたパワーポイント資料がほしいです。
- ・ 海外展開は参考になった。

②「地域メディアとしてのケーブルテレビの役割」

【講師】 須高ケーブルテレビ株式会社

日本ケーブルテレビ連盟 丸山 康照 氏

- ・ コミc hの人気の高いことに感動しました。その理由もよく分かりましたが、広島では実現できそうにない

少しがっかりしました。ノウハウを教えてくださいたいです。

- ・ケーブルのことがよく分かった。
- ・ケーブルテレビならではの地域連携の話が参考になった。
- ・インターネットを使うサービスができるケーブルの強みやコンテンツの面白さを感じました。卒業式の中継見たいです。
- ・次世代のケーブルテレビのあり方が垣間見えた。
- ・小学校の入学式などをしっかり撮影されるというので、地域との関係がわかって良かったです。
- ・須高ケーブルテレビの取り組みを聞いてとても勉強になりました。
- ・我々の事業として取り組む、あるいは目指すモデルとして大変参考になる。マイナンバー連携の部分をもっと知りたい。
- ・独自コンテンツの制作力とこだわりは放送局ではかなわない程です。ただ、加入規模と制作主、社員の方のモチベーションがどうなのか、社長さんの心意気でもっているのかちょっと気になりました。
- ・4Kチャンネルの試みが参考になりました。
- ・地方のケーブルTVがこんなにアライアンスを組み先進的な活動をしているとは知らなかった。
- ・ある意味ローカルテレビ局よりケーブル局のほうがやれることが多い気がした。
- ・ケーブル会社の様々な取り組みや、自主放送に対する熱い思いが伝わってくる講演内容だった。
- ・ケーブルテレビ会社の事業の幅広さを確認することができた。
- ・デジタルアニマルパークや女子美術大学生など、幅広くコンテンツを活用されており、ローカル局でも取り組むべきコンテンツがあると改めて学ぶことができました。
- ・取り組みの視点がすばらしい。地域性もあると思うがケーブルテレビとしてあるべき姿を見たように感じる。ただ、同じ取り組みが当地でできるとは思わないが、一つ一つの取り組みを考えていきたいとも感じた。ケーブル4Kもこれからであり、今後の道筋が大切ではないか。多様化するなか設備リプレイスも一方ではかかえており、収支も考えながら連携（自他局）も考えていく必要性を感じた。
- ・行政のPR請けに興味あり。
- ・CATV局がこれほど多角的に、積極的に経営されているとは思わず、大変感銘を受けました。
- ・地域のプロモーションまで展開しているところが参考になった。
- ・地元ならではのイベント、企画など参考になるものが多かった。
- ・お話的には事業規模が近く参考になった。地域密着に重点が置かれている点が参考になったが、情報発信で拡大するやり方があればよかった。
- ・地域創生のために様々な連携をされていることを知り参考になりました。
- ・マイナンバーカードとCATV事業とのコラボ（実証実験）の話をお聞きできて大変良かったと思います。
- ・分かりやすくなった。また話を聞きたい。
- ・ARアプリの説明をもう少し聞きたかった。
- ・小学校など地域への貢献度の高さに、新しい切り口を知りました。
- ・地域と密着したケーブル局の展開に関し、具体例もたくさん拝見でき参考になりました。
- ・地域密着した活動ができている。
- ・地域おこしの取り組みは参考になった。
- ・独自の事業展開に、ご自身の誇りと自信を感じました。すばらしい社長様です。参考になりました。

③「ローカル局でのコンテンツ配信の挑戦」

【講師】 九州朝日放送株式会社 香月 和宏 氏

- ・ローカル局の取り組みとして、とても参考になった。
- ・大変参考になった。
- ・ネット配信の難しさと、今後の展開について良く分かりました。
- ・ネット配信についてうまくまとめて整理しており大変参考になった。
- ・アライアンスでのコンテンツ制作など、あくまでもローカル局としてのコンテンツ制作が勉強になりました。
- ・他社の取り組み事例を知れて参考になった。
- ・地元を大切に制作されていて、自分の仕事にも役立てようと思った。

- ・番組配信についてよく分かりました。テレビの未来の視聴形態を感じました。
- ・広島にもクリエイターの仕事があり、広島を舞台にしたローカル映画がたくさん作られている。発信方法が学べた。権利処理は我々も同じ悩みがある。
- ・自称オタクといわれる部長さんの、のりとパワーがすごいです。まだまだ私どもでは知られていない編成マンをもっと自社の職員にも学ばせたいところです。
- ・アニメ配信販売が興味深かった。
- ・コンテンツ配信は儲からないとの結論に同意。そのさらに上に何を求めていくのか、どの様にコンテンツ開発の収支をとるのか興味深い。
- ・やっぱりそこに行くのしかないかなと思います。
- ・配信は儲からないと断言したのは痛快だった。オンデマンドからライブ配信も印象に残った。
- ・コンテンツ配信という概念（⇔番組制作）がよく理解できる先進的な事例紹介と、配信自体は儲からないという原則を説明してもらい参考になった。二次利用が大変だという点も分かった。
- ・九州出身なので「ドォーモ」や「福岡恋愛白書」等の番組名を懐かしみながら聞いた。また、KBCさんのコンテンツ配信へかける思いを確認することができた。
- ・若者に向けたコンテンツに感動しました。クオリティが高く、帰宅後、検索し見てみたいと思いました。
- ・ローカル局は本当に自社だけで事業を行うことは厳しいです。アライアンスが大事であると再確認することができ、また、マーチャンダイジングを考えながら新しいコンテンツを考えていきたいと感じました。
- ・コンテンツ配信は本当に難しく福岡という地域性もあり出来ているのか……。ローカル局とはいえ放送局ならではのアーカイブや予算はケーブル局とは違うとの感想である。地方のケーブル局では、とは感じるが勉強になりました。権利処理について、アーカイブ化するにも大変な努力と根気が必要でとても感心させられました。
- ・放送収入に頼らない新たな事業、取り組みに興味が出た。
- ・具体的な取り組み事例や、九州朝日放送様としての考え方、取り組み方まで詳しく紹介されて、大変興味深く参考になりました。
- ・新しい試みに積極的にチャレンジする姿勢を見習いたい。社内の理解を得るのは大変だったと推測します。
- ・配信して終わりにするのではなく、次のステップへ進むための戦略の大切さが身にしみて分かった。
- ・最後の「配信は儲からない」その他付属の方法で儲けるしかない、というところが参考になった。
- ・テレビ番組を作るというよりも、作ったコンテンツを様々なメディア、地域に配信するといった考え方が大事なのかなと思いました。
- ・番組制作では、目的が大切であることがよく分かりました。
- ・骨子はよく分かった。制作する覚悟 — をどれだけの放送局が持てるだろうか。80万かけて100万稼ぐのか、800万→1000万、8000万→1億、どのレベルの話か知りたかった。
- ・九州全体を基板として発信する取り組み、その課題と解決に向けた内容が、具体的によく分かりました。
- ・コンテンツ配信の権利処理の難しさなども参考になりました。
- ・プロモーション、印象に残った。
- ・多面的なトライアルは参考になった。

④「4K先進県・徳島の取り組み」

【講師】 徳島県 國安 治 氏

- ・大変勉強になりました。
- ・徳島での取り組みは、是非、他県でも進めてほしいです。
- ・なじみのない徳島県がこのような取り組みをしているとは知らなかった。大変興味深い講演だった。
- ・デジタルコンテンツやツール、インターネット網を使ったビジネス、イベントなど興味を引く内容だった。
- ・面白かったです。動画が正常に見れれば……。
- ・街全体で4Kを押ししているのが分かった。
- ・4Kを通じてまちおこしをしている点が面白いと思いました。
- ・取り組みにはスピード感と集中が必要であることを感じた。好例、ブロードバンドが人と金と交流を呼ぶ、大変すばらしい。
- ・県庁さんのパワフルな取り組みは、逆境を活かしたモデルかと思います。県以外にも自治体でインフラ整備さ

れていますが、ここまで利活用されているような状況は、私ที่ไม่知らないのか、聞いたことがありません。当県でのパワーはどうなのか気になります。

- ・アライアンス先企業の情報が参考になりました。
- ・地上波不毛の地を逆手にとって4K先進県となる試み・・・行政のリーダーシップが空回りせず着々と進んでいることがとてもうらやましいと感じる。
- ・取り組み自体はすばらしいと思いますが、将来ある子供達には、是非、実体験を重視した教育をしてあげてください。
- ・徳島が4Kとは初めて知った。行政の取り組みとして推進しているのに驚いた。
- ・4Kにいち早く取り組み、4Kを軸に地域活性化を展開する県の先進的取り組みに感銘した。祭りなどの伝統行事を4Kで情報発信したら、地元でも効果があると感じた。
- ・地方創生が地方自治体のテーマとなっていく中で、徳島県さんの取り組みには新鮮なものがあった。
- ・徳島の魅力が良く伝わり、行ってみたいくなりました。ケーブルTVを最大に活用し、活気あふれている住民の方々がうらやましく感じました。
- ・ピンチをチャンスに変えたことで、全国屈指のブロードバンドを開拓できた徳島県の魅力を伝えるに当たり、地域の皆さんの積極的な協力を得ていることは強みであると感じました。
- ・ある意味とてもうらやましく感じます。というか県がここまで動いて頂くとケーブル局にとってやりがいもあり、とても良い環境にあると思います。比較したくはありませんが「広島」では考えられない世界です。やはり老人にインターネットは難しく、ケーブルテレビの映像はテレビで映ることが大切であるのかなと思います。普及率が88%とはすごい一言です。「広島」では難しい環境ではありますが、まずは県内ケーブル局の連携を目指したいと思います。
- ・行政の積極的取り組みがすばらしかった。
- ・自治体として積極的に取り組まれている話を聞き、地元と比べてうらやましく感じました。
- ・県が4Kを積極的に推進しているところが興味深かった。単なる集客にとどまらない点がすばらしい。広島県も見習うべきだ。
- ・徳島県が行っている取り組みが、県全体で力を合わせているのが見えて良かった。
- ・徳島県は色々面白い取り組みをしているのだなと思った。行政との付き合い方を考えようと思った。
- ・徳島県が県として地域活性化に取り組んでおられることを知り、大変参考になりました。
- ・先進県の取り組みを聞くことができ参考になりました。
- ・興味深く聞けた。
- ・県としての積極的な取り組み、その成果がよく分かりました。
- ・4Kコンテンツ制作に関し、とても興味深い内容のお話でした。
- ・グリーンバレー旗振り役が必要だと思う。
- ・転入超過に驚いた。

(2) パネルディスカッション

コーディネーター 中国新聞社論説主幹 佐田尾 信作 氏

- ・地域を盛り上げるための各メディア、各立場の取り組みについて、その違いを踏まえながら掘り下げた話が聞けた。香月さんのWEB「コンテンツ」と放送「番組」のつくりの違いの話が面白かった。
- ・ディスカッションを通じて、講師の方の放送に対する考え方を知ることができた。
- ・各会社の取り組みをプレゼンよりも詳しく説明を聞くことができました。完パケ素材の配信などになると、権利処理の問題が出てくるので難しい問題であるなと思いました。
- ・放送コンテンツや4Kについては、おそらく興味ないのだと思った。いささかピント外れの質問が多かった。
- ・放送局2社、ケーブル局、自治体と違う立場の方のパネルディスカッションで、個々の会社でのお話で統一感はありませんが、メディア事業として現状を変える必要性から個々に組み込まれ成果を上げられている事例であり、興味深く聞かせていただきました。ケーブルテレビ事業としての双方インフラ等の活用、収支のバランスも考える必要性、放送コンテンツの二次利用で音楽の権利処理ができず差し替えをされる必要がある等、今後のネット対応に対し対処を考えること等、今後の自社事業に対し考える必要性を感じております。
- ・もう少し放送やコンテンツビジネスのことを勉強された方がほうが好ましいと思います。

- ・コーディネーターとしての興味が“コンテンツの中味”に片寄っていたと感じたが、香月さんの話で経営面の話になり良かった。
- ・上手にコーディネートされていました。
- ・運営、進め方はうまいが4人（講師）のテーマが違っているので、ディスカッションには疑問な点があった。
- ・運営方法は参考になった。

7. 地域の活性化に向けて、今後、放送メディアに期待することや役割は何だと思われますか。

- ・地域密着連携、BCP
- ・地域にあるコンテンツを世界に発信する。多くの人に見てもらうことで地域をPRするなど。地元のケーブルテレビ局でも“まち”をPRする力や発信力を発揮することで、地域の活性化にもつながると思いました。
- ・内からの力強さ、公平な眼、判断ができる人材育成のうえで、責任のある情報発信を期待します。
- ・活性化は“地域内で金、モノ、ヒトがまわること”だとしたら、その回る仕組みの行政、企業、団体 etc. をつなぐインフラとしての役割を期待したい。
- ・どう情報発信し、全国や世界の周知を得るか。
- ・自社のもうけだけを考えるのではなく、市町村、県を巻き込んで、ともに活性化することがローカル局には求められるのだらうと思いました。国内だけでなく、海外にも展開していくことも放送メディアの役割であると思いました。
- ・放送＝テレビ受信が主流だと思います。今後IPを通じた放送も現実化してくるのも現実味をおびております。そうした影響がありますが、メディアミックスであり放送コンテンツをアーカイブでIP化も可能です。民放がケーブルテレビ的な下町の店の紹介とかされている時代となってきたなか、ケーブルテレビ局の立ち位置を考えなければならぬと思います。地域発信による番組（メディア）の制作から、その内容をいかに見ってもらうかが鍵であり、自治体、観光協会との連携により地域の方が欲しい情報を流せる。それらの情報以外に観光案内を他県のケーブル局との交流（須高ケーブル、連盟等）により観光客増加等、活性化につながると思う。
- ・これまでの放送は、東京を中心とした都会の情報を地方に紹介することを主たる目的としてきた感がありますが、今後は、地域に密着したメディアとしての存在感を期待されていると考えています。
- ・地域の魅力を分かりやすく、多様な表現手段を活用して伝えることができるところにあるのではないかと。地域の歴史的景観、遺跡などの価値を再認識させる有効な手段になる。
- ・地域に密着し、市民の皆様との交流を深め、地域全体がまとまって良さや観光のPRを行う。
- ・北海道の方が言われておられたが、配信しても儲からないというのが困ったなあと思うが、地域のプロモーションをするしかないのかと思う。
- ・行動するきっかけ（例えばお店、観光など）
- ・自分が聞きたいです。
- ・地域と企業の結びつけ。企業と企業の結びつけ。企業・地域と他の地域との結びつけ。
- ・地域密着型。
- ・プラットフォームにこだわらず、柔軟な地域貢献ができる動き。
- ・引き続き放送メディアの良さを伝えてほしい。ネットでは味わえないメディアの良さ、楽しさ。
- ・年代別に戦略を分けるべき。

8. 自治体の放送メディアの利活用についてどう思われますか。

- ・積極的に活用すべき。
- ・インフラ整備でヒト、モノ、金がつきて、利活用にまでついていないのがほとんどか。アニメとか注目されるだけでなく、推進力のある人づくりが必要。
- ・よく分からない。自治体との“地域創生”の中で放送メディアがどのように位置づけられているのか不明である。
- ・活用されるのは良いが、コンテンツ制作コスト、権利処理など上から目線では乗り切れない多くの課題があることを認識されるのがよいかと！！
- ・情熱と感動を共有できれば、最大の効果を発揮できる。
- ・今回のセミナーを受けて、自社でもまだまだ利活用を進めて行かなければならないと思いました。より自治体

との関わりが必要であると思います。

・是非ケーブルテレビ局の活用をされたい。地域密着の観点からみると他のインフラより強く（コンテンツ）自主放送等、自社のネットワークを通じてテレビ（自宅）で見れる強みではないでしょうか？老人の方にパソコンで議会中継を見る等は難しく、テレビのチャンネルをひねれば見れることはインターネットの使い勝手より手軽で、活用しやすいと思いますが、是非、自治体はケーブルテレビ局の活用をお願いしたい。

・まだまだ不十分だと思います。政治とは切り離れた形で、より積極的に、効果的に放送を利用していただきたいと考えています。

・「利活用」というよりも「友好（有効）関係」を構築することが大事ではないか。自治体と放送メディアがウィンウィンの関係になるようにするとうまくいくのでは。

・どんどんしてもらいたいが。

・自分が聞きたいです。

・住民の活性化（理解深化）楽しみを増すために利用すべき。

・色々な制約もあろうかと思えます。着目点と発想に工夫が必要かと思えます。

・住民のメリットになる部分は歓迎するべきかと思えます。ただ、あくまで公共サービスの一環としての利用であるべき。

・積極的な連携が必要。

・地方行政でも今春4月から「シティープロモーション担当」が新たに設置されています。こちら側から積極的アプローチする必要性を感じていたところでした。財政面での課題はあるようですが官民一体が望ましい。

9. ご意見・ご要望について

セミナーに参加されてのご感想や、放送分野に関して今後セミナーで聞きたいことや関心のあるテーマ、セミナーへのご意見・ご要望などございましたら、ご記入願います。

・徳島県の事例はあったが、土地柄、中国地方の例も1件欲しかった。

・テレビ、ラジオ、ケーブル、インターネット等が相互にクロスメディア展開して話題になった事例、成功事例を見たい。

・今後もより先進的な事例を生で紹介して頂く機会を作っていただけると幸いです。

・地産地消、田山の活性化、文化伝統の次世代への伝え方。

・4Kコンテンツ制作について。コンテンツビジネスの海外展開の動向について。

・4K、8K

・こみちゃんを自力で4K放送する日はいつ？なのか。CATVに4K時代は来るのか。4K、8Kの今後を教えてください。